

## 営業の概況(連結ベース)

当中間連結会計期間の業績につきましては、資金の効率的な運用・調達、及び、経営全般の一層の合理化に努めるとともに、資産の健全性確保のために諸償却並びに諸引当金の繰入を行いました結果、以下のとおりとなりました。

### 1. 主要勘定の概況

預金等(譲渡性預金を含む)は、前連結会計年度末に比べ法人、個人預金共に増加したことにより15,877百万円増加して、当中間連結会計期間末残高は4,105,862百万円(うち預金は4,005,752百万円)となりました。一方、貸出金は、地方公共団体向け貸出の増加が寄与し、20,059百万円増加して2,763,498百万円、有価証券は、地方債、社債の増加を主因として44,756百万円増加して1,474,998百万円となりました。また、総資産の当中間連結会計期間末残高は4,541,421百万円で前連結会計年度末に比べて18,112百万円の増加、純資産額と同残高は242,493百万円で同5,553百万円の減少となりました。

### 2. 損益の状況

損益については、低金利の長期化により資金運用収益は前年同期比1,917百万円の減少、またその他経常収益は投資損失引当金戻入益が同492百万円減少したことを主因として同636百万円減少となりました。その結果、その他業務収益が国債等債券売却益等の増加により同1,157百万円増加したものの、経常収益は同1,517百万円減少の44,998百万円となりました。

一方、経常費用は、資金調達費用の減少(前年同期比597百万円減少)、ならびに営業経費の減少(同122百万円

減少)に加え、貸倒引当金繰入額の減少を主因としたその他経常費用の減少(同1,029百万円減少)により、前年同期比1,158百万円減少の36,717百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比359百万円減益の8,281百万円、中間純利益は同1,397百万円減益の3,878百万円となりました。

### 3. キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ19,181百万円増加し、60,945百万円となりました。

増減額の前年同期比では、14,080百万円の増加となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間中の営業活動による資金は81,830百万円の増加で、前年同期比34,049百万円の増加となりました。この主な要因は、コールローン等の減少であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間中の投資活動に使用した資金(資金の減少)は61,841百万円で前年同期比20,234百万円増加いたしました。この主な要因は、有価証券の取得による支出の増加であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間中の財務活動に使用した資金(資金の減少)は800百万円で前年同期比297百万円減少いたしました。この主な要因は、少数株主への配当金の支払額の減少であります。

## 主要な経営指標等の推移(連結)

	単 位	平成22年度中間期	平成23年度中間期	平成24年度中間期	平成22年度	平成23年度
		(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
連結経常収益	百万円	46,781	46,516	44,998	91,812	90,711
連結経常利益	百万円	4,969	8,640	8,281	11,842	18,261
連結中間(当期)純利益	百万円	1,705	5,276	3,878	4,676	8,228
連結中間包括利益	百万円	△ 339	△ 2,752	△ 4,752	—	—
連結包括利益	百万円	—	—	—	1,997	12,970
連結純資産額	百万円	256,296	253,424	242,493	257,531	248,047
連結総資産額	百万円	4,344,656	4,459,505	4,541,421	4,420,479	4,523,309
1株当たり純資産額	円	883.03	871.28	904.73	886.58	926.27
1株当たり中間(当期)純利益金額	円	6.46	19.99	14.69	17.71	31.17
潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額	円	—	—	—	—	—
連結自己資本比率(国際統一基準)	%	13.27	14.00	14.30	13.01	14.04
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	59,323	47,781	81,830	72,347	33,367
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 61,381	△ 41,607	△ 61,841	△ 65,581	△ 43,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 1,101	△ 1,097	△ 800	△ 2,204	△ 2,197
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	百万円	46,491	59,311	60,945	54,211	41,764
従業員数 [外、平均臨時従業員数]	人	2,733 [1,121]	2,675 [1,152]	2,619 [1,184]	2,650 [1,121]	2,602 [1,156]

(注) 1. 当行及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額は潜在株式がないため記載しておりません。

3. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国際統一基準を採用しております。

4. 従業員数は出向者を除いた就業人員であり、[ ]内は嘱託及び臨時雇員の期中平均人員(外書)であります。

5. 平成22年度中間連結会計期間の平均臨時従業員数は、第2四半期連結会計期間における平均雇用人員数であります。

6. 平成22年度中間連結会計期間の連結中間包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、選及処理をしております。